

入賞

魔法の言葉

岩出中学校 1年 増田 吏香

私は、あいさつをすることの大切さをテーマに選びました。あいさつについて書こうと決めた理由は2つあります。

1つ目は、小学生のころは自分から出来ていたあいさつが、中学生になり出来ていないと感じたからです。2つ目は、あいさつをきっかけに、近所の車屋さんと仲良くなったり、犬をさんぼ中の飼い主さんと仲良くなれた経験があるからです。

あいさつはコミュニケーションの1つであり、たくさん種類があります。その中でも私は、「おはよう」が好きです。小学生のころ、通学路で必ず出会う車屋のおじさんがいました。初めは、はずかしさで上手く出来なかったけれど毎日あいさつを続けた結果、おじさんにあいさつをするのがはずかしくなくなり、小学校6年間でとても仲良くなりました。ただのあいさつだと思っていた「おはよう」は、相手との距離を縮め、心をつなぐことができる魔法の言葉でした。

私はもともと、自分から話しかけるのが苦手で、友達が出来るか不安な気持ちのまま、中学生になりました。それをお母さんに相談すると、「まずは元気にあいさつをしてみれば？」と言われ、「それなら私にもできるかもしれない」と思いました。

次の日の朝、勇気を出して「おはよう！」と友達に声をかけてみました。すると、「おはよう！」と笑顔で返してくれて、とても嬉しくなりました。それをきっかけに、少しずつ話しかけるチャンスが増えて、「昨日のテレビ見た？」や「今日のテストがんばろうね」といった会話もできるようになりました。

朝は眠くてぼーっとしてしまうことが多いけれど、大きな声であいさつをすると、元気が出てきます。気持ちも前向きになり、「よし、今日も1日がんばるぞ！」という気持ちになります。

もちろん毎回うまくいくわけではありません。時々、あいさつをしても返してもらえないこともあります。そんな

ときは少しさみしい気持ちになります。しかし、毎日あいさつを続けていると、前は返事がなかった子が少しずつ「おはよう」と返してくれるようになったこともあります。すぐに変化はなくても、あきらめずにあいさつを続けたことで、周りとの関係が少しずつ良くなっていくのを感じました。

私は、あいさつには「あなたのことを大切に思っているよ」という気持ちがこめられていると思います。だから、友達や家族、先生や近所の人にも、自分からあいさつするようにしています。そのたびに、自分の心もあたたかくなり、された側も笑顔になります。

もし、みんなが毎朝「おはよう」と声をかけ合うようになったら、学校全体がもっと活気にあふれて、お互いに声をかけやすい雰囲気になるとと思います。

たった一言で、自分も相手も明るい気持ちになり、そこから会話が始まることもあります。あいさつは、友達をつくるきっかけになるだけでなく、お互いのことを知る大切な一歩になると思います。もし、まだあいさつをするのが少しはずかしいと感じている人がいたら、「おはよう」と元気に言ってみてほしいです。私もうまくできない日もありますが、これからも笑顔であいさつをして、もっとたくさんの人と仲良くなりたいです。

たった一言の「おはよう」でも、人の心を動かす力があることを忘れずに、これからも笑顔であいさつをしていきたいです。